



「我が家のアンパンマン、メロンパンナちゃん、ドキンちゃんです。」

黒田沙樹ちゃん・大喜ちゃん・結貴ちゃん  
H14.11.12 H11.1.4生 H12.2.10生  
(笠岡)



「仲よし姉妹にかわいい従妹ができました。」

小林 碧ちゃん・蒼ちゃん・浅井葉捺ちゃん  
H14.11.6 H12.10.15生 H16.12.27生  
(大井南) (福山市)



「府中のおばあちゃん  
大きなよろいかぶとありがとうございます」

ゆうと 藪田優大ちゃん (中央町)  
H16.10.4生



「紗恵ちゃん  
大好き♡」

さえ ゆうと 奥野紗恵ちゃん・優斗ちゃん  
H16.10.2生 H14.6.22生  
(北木島町)



「親しい人からいただいた南極の石(上2つ)と、古代エジプトのロマンを感じるクフ王のピラミッドの石(下)です」

坂本悦男さん (富岡)

あなたのお家の自慢できる人や物を紹介します。我が家のアイドル(子どもたち)、家族に人気者のペット、家宝、自分だけの宝物…。そんな自慢に一言メッセージを添えて企画政策課まで送ってください。

### 展覧会と催しのご案内

しらがたんあん  
「白神澹庵とゆかりの画家たち」

6月11日(土)  
～7月18日(月)

竹喬の祖父白神澹庵と、ゆかりの画家による作品を展示。

### ギャラリートーク

6月11日(土)  
13:30～14:30

陳列作品を解説します。参加無料(入館料のみ必要)

〒714-0087  
笠岡市六番町1-17  
☎63-3967  
ホームページ  
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「洛西広沢の池には、東北寄りに蘆が生えている。盛夏に少し早い頃であつたらうか。その蘆の茂みから少し離れたところに、若々しい蘆が一行にならんでいた。素直な風情に私の心はひかれた。(竹喬のことば)」

爽やかな水の色とやわらかな植物の緑が目映る。画面の手前では見おろすような視線で、風がおこす水面の波とそよぐ蘆の一群とが描かれている。少しむこうに目をやると、蘆が繁り、水底の遠いか雲の影か、水の色にも変化が見える。

視線は遠くに向つてずっと低くなり、対岸の蘆は真横から見た様子だ。一つの画面の中で竹喬の観察が自然なかたちでつながって、心ひかれたという蘆だけだけでなく、池全体の印象が再現されている。



### 広沢の池II

小野竹喬 作

昭和38(1963)年頃  
46.6×36.7cm

竹喬美術館の光彩 30

### 今月の表紙

「うおー!!」というかけ声とともに、狭い路地を勢いよく走り抜ける三基のみこし。例年、9月に開催されていた真鍋島伝統の「走りみこし」が5月3日に行われました。

若い世代が島にいななくなり、みこしの担ぎ手が年々減少するなか、保存会が帰省する島民が多いゴールデンウィーク中の開催を大英断。突然の決定でしたが、当日はたくさんの方の観光客が訪れ、その勇ましい姿に、感嘆の声を上げていました。

### 係から

6月1日の異動で広報担当から卒業することになりました。2年2カ月という短い期間でしたが、さまざまな行事やイベントを取材させていただきありがとうございました。

最初の頃は、カメラの使い方もよく分からずあたふたしたり、慣れない取材でとまどつたりと大変でした。また昨年からは紙面づくりもパソコンを使つてくるようになって、最初1・2カ月は遅くなるようになり、完成させたことが昨日のことのように思い出されまして、これからは、広報で得たものを糧にして、協働のまちづくり課でがんばりたいと思います。

後任の方に一言。これからも皆さんに愛されたい「広報かさおか」を目指していきます。

(松)



Matsuura Mukaiharu

発行日/平成17年6月1日  
発行/笠岡市役所  
編集/企画政策課  
〒714-8601 笠岡市中央町1-1  
☎69-2114

印刷/アドハウス ☎66-4670

笠岡市ホームページ: <http://www.city.kasaoka.okayama.jp>  
メールアドレス: [kouhou@city.kasaoka.okayama.jp](mailto:kouhou@city.kasaoka.okayama.jp)



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています